

小精廬日誌

昭和十三年  
五月以降

特別

14

1919

631

35

40

45

50

176896

小樽産日誌

昭和十三年五月以降

五月一日

日

昨朝未雜報を著す。海内各都府に於て  
 田舎者の暴行が甚しき事甚しき事甚しき事  
 仲花の怪子を捕ひ伊勢丹倉屋に送りし事  
 校友丸山まき姫加藤中庵とて未出候所  
 際、新内旅舎と穀魚列来と下掛と充  
 づ

二日

明風、坂口献幸、四十七回、五回、全郵送、又、新書、  
作、之、号、曰、五、十、二、号、終、終、号、六、日、也、郵、送、相  
乗、船、収、も、善、ま、山、田、東、南、門、人、海、松、の、西、田、慶、光、と  
リ、尊、南、哀、悼、集、外、一、首、三、首、を、子、の、新、宿、に、数  
果、酒、令、と、吟、々、大、江、乙、亥、門、本、功、西、田、慶、光、一  
向、と、定、ま、り、大、夜、毎、の、夢、社、と、必、全、十、日、刊、未、夜  
ニ、入、り、西、風、夜、河、海、令、未、吟

二日

榎原製

雨、心、電、話、料、十九、日、六、十、五、日、納、付、米、田、實、の、列  
圓、の、對、日、動、向、と、題、す、講、演、を、持、ち、赤、松、保  
と、筆、を、十一、日、供、之、が、出、游、高、崎、屋、會、堂、に、酒、飯  
し、て、ゆ、く、と、市、極、し、つ、未、又、田、中、穂、積、と、由、子  
の、見、處、に、伊、藤、清、丸、と、野、々、大、江、乙、亥、つ、よ  
り、未、也

四日

晴、朝、未、始、終、を、筆、す、西、村、文、則、本、功、押、尾、と  
雜、法、と、書、稿、を、囑、り、理、報、友、に、一、時、間、易、す、直、に  
晴、中、大、中、坂、口、献、幸、依、之、問、答、一、と、未、也、大、江、乙

夏つしつ子見あき菓子と銘の菓を午後五時頃迄を  
を教果する西田房主と来簡嘉納治五郎の計  
接す

五日

町田村社二郎末次初来去井雲坂のつとと和を西  
村文則、郵送、教果日本橋五物を捕心高島屋  
公堂、酒飲しと仰ふ、本の着度婦文書、税務署  
井文子社も来書、田中留子より函也別々文子社よ  
り余の地量、の文と摘録する、醸正四段と送り来ぬ  
町田五川の伝承、ゴリ(カシカ)を銘、来ぬ、直と晩的

榎原製

下物とす

六日

町田義一長男義彦と男存毛利元良の  
妹と嫁婿の事、五月十九日披露の宴、杯を朝  
来新紙と着す、星田火災の被保期限満ち  
今日借手続をす、山田清也来訪、先月分後  
巻の本二冊配本、坪内らと向ふ、又高島を携り  
来ぬ、五時紅茶飯の睦合、踏む高田井上、高田  
山田、夜来向あし、高村真夫、高島、高島、高島

雨宮島を去る。不遇

七日

雨朝未だ霧を蒙り、十一時僕の出掛北東坂の  
田原尾の浦で、看廣助の更紗を以て中野の志

八日

日

雨、小笠原の雨(霧)のついでに家も葉子靴靴及物  
を贈る。即ち雨宮島を去る。大江に渡り  
三間、新島を去る。十一時出掛新島、物を

榎原製

晴い三福に飲す。十日同去。新島合：招待を交  
く新島を去る。武蔵尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾  
為り来た。東島原の野村と筍を贈る。未。

九日

晴、朝未だ霧を蒙り、十一時僕の出掛北東坂の  
田原尾の浦で、看廣助の更紗を以て中野の志  
内年記念式典(三月十五日)のあり、杖刺の、午  
後嘉納治兵衛の生誕式あり、宅に在りて心坐黙禱

又重栢しつ未だ大江に流る身訪、夜に入り小雨

十日

昨、早朝も定歌の大掃除を行ふ、旅籠と兼  
す、及町弘文荘にも古書目到来、十一時迄と敷  
菓下谷の露月巻を酒飲す、ゆき子掃除活  
む、午睡一時間、妻代四山椒の佃煮を餅木で焼  
く、木の六掃除の房も乾かす、男也四人吃る海  
野来珍

十一日

榎原製

昨、早朝も定歌の大掃除を行ふ、旅籠と兼  
す、及町弘文荘にも古書目到来、十一時迄と敷  
菓下谷の露月巻を酒飲す、ゆき子掃除活  
む、午睡一時間、妻代四山椒の佃煮を餅木で焼  
く、木の六掃除の房も乾かす、男也四人吃る海  
野来珍

十二日

昨、早朝も定歌の大掃除を行ふ、旅籠と兼  
す、及町弘文荘にも古書目到来、十一時迄と敷  
菓下谷の露月巻を酒飲す、ゆき子掃除活  
む、午睡一時間、妻代四山椒の佃煮を餅木で焼  
く、木の六掃除の房も乾かす、男也四人吃る海  
野来珍

時出候本表ハ三時分の迄是、各新集を指し、  
時原公を以て領し、少く、戦報を云、皇軍、廣く  
占領す

十三日

時朝来三時分の迄是、各新集を指し、本口宮  
シントゲンが内子のる傷部を檢し、折骨漸愈  
能ふ、少くも報より十時例の敷集上、  
列す、少くも、千後、新集を以て、細川信直  
訪、早稲田、文業子、校大成、各、来、  
東、城、高、大

榎原製

以有、三、表、  
十、田、地、海

十四日

時、皇、軍、の、徐、抄、包、圍、攻、撃、  
戦、も、も、大、戦、と、豫、想、  
又、又、新、集、を、  
の、外、表、  
新、集、を、

十五日

日

時、戦報と云く、徐物の包圍殆少し、敵の退路と断す  
五十番の敵甲の運命迫りと、朝未報取を筆す、五  
十番洋念寺を本願寺、仲村金河来の之而  
到未日の時断り、市中時鉄太郎亮考す、其  
時桂次中五吉の電報到、幕式十八の九時、甲電を  
考す、宇尾明海を瓢湖の毒菜を賜り、未  
敵某州を、千啼入、活也、之、湯、利。

十五日

榎原製

時、朝未報取を筆す、其時中大なり、甲電を  
考す、香典十の口お、幕儀又不参を、是日  
東京朝日、創刊五十年紀念、戦多し、美術展の  
説、子開催、のとき、招待状来、龜山素三、電井  
龍雄の梅、横吉の、是、匣を、行、則、ち、也、ん、ん、ん  
ふ、つ、人、栗、本、栗、で、の、小、笑、山、の、贈、る、の、故、集  
丸、七、の、心、下、合、年、の、飯、り、ゆ、其、年、終、一、時、會、宇、尾、會  
臨、二、高、す、

十七日



雨、朝未誰かを兼す、言軒集後より、終日死は  
二十二日直達、桑の通條未、後書は○も消す  
重松一がより石海

十八日

而、其山極攻り、桑式より、つき佛壇と香臺を献し  
九時黙禱す、雍和を兼す、未後乙二時を移す、六  
月一日金子馬次一月忌、折柄出状、日生方長印より  
り来出、夜より西門より珍條の二回やまき

十九日

標原製

是天向氣あり、余の投報も水のり政界性来、  
折柄、任友、銀金一百圓に出す、午後微雨到り、  
新志、執後、時を移す、五時高き人、飯の増回  
義一、副子の法、婿、投、霞、安と臨む、家、原、税、七十  
七圓の徴、金、前、列、の、納、期、二、月、六、日、也、夜、中、ラ、ジ、大  
ハ、餘、あり、臨、終、を、報、す

二十日

吹雪の紙、就て徐物、攻略の詳報を讀む、亦  
新報を兼す、十時廿々、レ、ハ、声、高、く、徐、物、占、領

を報すしづみつふゆを伴ふ新右平兵衛丹次重  
と酒飲しゆ事午睡一時間、御後丹次原平  
の身代に目ら意深中の一節家伝火と云  
丹次皆焚け本居り事免免と云と報し未  
ふ、夜未あまう、一づお泊

二十一

而、朝来雜記を善く、神郡晚秋と未出冊  
美く火災の見事、状を善く、去る文士の蔣政権  
何時も、續くふの撰漢書記を讀む、又刻故策

榎原製

下谷の風月：酒飲し、新誌を撰る、ゆゑ、之れ  
夜、山、と字の村と雷のふり。

二十二

時、今朝、えし大い、四、種、積り、ちし、并、こ、お、ま、る  
誦、漢、を、ま、く、未、廿、八、日、亡、女、澄、廿、五、回、忘、相、あ、り  
つき、高、山、法、海、心、院、金、五、回、返、り、供、養、を、し  
依頼、す、坂、上、弘、花、を、注、射、と、ま、く、新、右、平、の、栗、林  
未、亡、人、身、の、見、事、を、未、り、物、を、始、め、午、後、又、四、分  
ふ、女、時、こ、大、隈、合、館、に、列、り、中、三、回、道、息、返、答、す

臨去、三宅花園世の中村翁右二門耳、坊宮分會  
久々の追憶を聴く、総出度、九十歳、名、夜未  
雨

廿三日

雨、坂上地、東安代用杉原二層、院形、築  
二つき、旗成式（廿五日十一時）、雲白、狀、州、任友  
預金、乾る、田、出、子、流、産、妻、夫、乾、水  
を、著、木、信、新、報、社、の、紀、念、冊、小、行、を、授、け  
十一時、先、七、柱、七、部、に、敬、意、三、福、日、酒、酌、し、七  
時、許、外、報、誌、を、読、讀、時、を、移、す、四、時、に

激、衣、女、考、時、百、時、海、色、道、稀、有、強、水、也

二十四日

晴、朝、未、書、物、食、理、社、の、能、法、と、寄、す、心、き、る、能  
を、著、す、大、堂、一、年、揚、士、來、以、京、都、の、古、村、三、分、會  
と、信、水、也、共、生、方、敏、印、の、為、相、毫、意、得  
の、吉、田、和、男、と、望、美、お、う、山、南、谷、と、呼、菜、の  
味、味、漬、刺、未、午、後、出、遊、怕、未、亦、原、稿、と、著、す、  
編、志、今、と、未、也

二十五日

頃相来原相を著し、早稲の寺の子校中村英  
去の刊列、坂上弘房の考め、扁額二枚、地毫  
中村死去の事、梅又、執とも、十時、半、自動  
車、二世、四谷の坂上弘房、弘房の相、原病  
院の竣工式、臨出、式場、二場の決、説とも、七  
直、二、新、去、新、宿、の、伊、丹、名、を、二、級、し、二、時  
半、印、香、古、田、如、男、丹、三、名、を、二、未、去、五、坂  
三、中、上、村、交、剣、の、事、書、と、傳、し、漢、詩  
印、木、端、二、條、二、角、を、野、と、し、内、子、不、意、の、員

漢詩

傳を、七、時、等、四十日、接、骨、切、を、奏、し、一、人、一  
聊、者、自、在、と、し、七、時、人、と、扶、け、ん、初、め、談、文

二十六日

頃、日、偶、風、雜、報、と、校、し、七、書、物、長、記、社、二、書、大  
橋、田、若、師、の、橋、谷、如、外、妻、壽、仁、念、著、心、集、を  
寄、七、美、の、山、田、信、允、來、訪、後、書、本、江、戶、名、所  
記、卷、六、配、本、十、時、出、游、寺、時、居、合、を、二、級、ま  
ゆ、来、半、時、一、時、間、刻、定、如、内、閣、改、定、書、志  
有、人、宗、恒、大、將、外、相、池、田、成、樹、花、相、堂

おと荒木大將文相ニ木戸厚生相ニ任命あり

二十七

時島海軍記念日。朝来雜誌を養老林内  
美八ニ聞す。佐々木忠次が博士死後、新河下婢  
の家山本金太郎も母國子も送り来り。高濱芳次  
郎の雜誌、民族精神を客観として日本が如きを強  
く外人の間に居て一命を五倍半時と云ふ。凡月巻  
に叙す。出版部も印税百一圓五十八文。領収  
書も金子馬治の法意に振えたり。断り、五的

半進志舎ニ臨み市邊丸一の地方赴任の送別  
会あり。今村美松、望月田中、北原喜房の行状  
列す

二十八

時島俗物林ニ客方入る。系村を基かして  
宮崎三郎、一徳善、頼山陽を敬慕す。今村  
隆二叔前新潟坂に献書して鱒の味噌湯を  
来り。西崎、夏子、喜代、可又十一時散策。丸  
じん公堂ニ喃し。ゆゑ、高濱芳次やも来り

二十九日

日

晴、赤橋を雑沓民旅宿神、宿す、新橋坂口  
二海柱と云ふ、海軍一ヶ月分徒次物七十回揚海  
方お易三三簡す、十一時外に出、新右の宿、酒飲  
し、午後午睡一時分、本林、奥夫、門和布、と始  
り来り。

三十日

晴、風、三三、山位及、銀金引出、新芝の跡、  
全、四、柱、新、柱、共、産、意、の、新、芝、牙、を、千、三、百

新芝

名、換、奉、の、百、を、載、す、新、の、高、存、親、二、と、  
の、味、増、法、を、述、り、来、り、午、後、散、葉、上、空、の、初、改、刷  
の、大、路、辰、迄、入、る、と、見、物、を、精、ふ、と、傳、へ、る、高、橋、  
海、也、と、云、ふ、ら、宮、三、三、と、云、ふ、海、也、と、云、ふ、

三十一日

雨、安、回、日、命、傳、快、と、割、辰、十二、四、四、十八、大、到、集  
本、林、奥、夫、三、海、也、と、云、ふ、大、江、乙、亥、の、身、法、十  
一、時、出、海、丸、比、の、キ、ヤ、リ、ス、に、酒、飲、し、初、来、午、  
睡、一、時、分、御、人、飯、山、藤、香、押、豆、を、初、ひ、と、来、り、物、を

野々、森林一兵の服装改革、靴の改良を推  
進、重箱の未だ谷村明彦と亡父秋村の遺稿  
を贈り、未だ内子漸中、快楽初め、お時間空  
宗家より子見、お呉物を贈る。

六月

一日

坊谷村明彦并に宗家、函志を思ふ、妻居心  
訪、旅費を養ふ、小島長尾より新刊幕末史

船感臨丸を贈り、未だ日本橋書肆尾名堂、所  
女帯と緋の園丁一人耳、庭の干入も多し、大日本  
印刷会社記念通利(二十八日)

二日

晴園丁一人未だ小路吉茂、函志を養ふ、日本  
印刷、委任状を寄送、高島屋弘と河津美柳  
飯山陽吉、身流成日丸を讀む、十歌合を  
未だ十一日一夜泊り、おけり、香取寺、お郷  
お湯、お慈恵、未だ未だ十日文の協会創立

三十年内年及創立者大隈元彦先生誕二百年  
記念会(今市大隈会館)の案内状到。

三日

晴風、九時より地震あり、山田河心舟流、龜山素  
三と海田素を度々の三條を踏む、雅和を  
兼て入園して一人未だ、海に到りて山崎東天舟  
流、信長と又舟相しつゝ、午後九時を以て園を  
と海に、因て一人川のき未だ、突如陸相交通四  
時散策和生の時、茶と酒飲む、相と野澤如洋

一週に遊園会(十一日)ある利。

四日

晴風、遠田又家舟流、園一人未だ、利根川園  
志と海に、雅和を兼て、信長散策和生、  
相と海に、茶と酒飲む、相と野澤如洋  
未だ。

五日

晴、東武書庫の方々と信長印一の近所雅和



刀江書院の 烟山方方中の世界史上の支那七宗の  
書あり、利根川國志と漢文五つ抄あり、午時抄有、散  
字中村尾、領事本、國丁未と刻、丸山雅也、全  
五冊あり、咸臨志と漢文其の二冊あり、深處  
一將軍地書あり、耕曉六帖、書あり、内子外未五  
十の巻あり、未起の能くとも書あり

六日

明度池五郎の書あり、元以揚分と未出、預金言  
五十四片あり、知人の書あり、揮毫十教紙あり、困  
丁未と、石川新、金洋、亀田、茶、鋪、十四方あり

を送り、島原山と注あり、依品印一冊あり  
近房雜誌と漢文あり、平洋金三冊あり、麦酒書  
あり、國子到來、戦後旅行あり、七冊あり、國子來り  
烟山方方中、漢文とあり、五時紅筆あり  
主利り、時令あり、臨志あり、月博あり、皆あり

七日

晴、市裏、勤勞、及、不滿一年也、朝来、於、山  
を、昔、下、す、平洋、金、三、冊、あり、抄、毫、を、二、文、十、時、出  
派、銀、生、一、冊、あり、夏、博、書、と、婦、人、次、生、書、二、冊、あり



房難治も陵む、四波を院し、余の隠筆を橋  
をもはせり、四文(巻中)を送り来り

十日

和金子の意を洩せしむ、土の末あり、商し  
新井邸、日次、火種、の板木を求む、世界、丈上の支  
那を讀む、大隈令、致、文の協令、主信、大  
隈丸、房を延る、年、此、心、念、の、留、ぬ、も、文、の、協、令、の、  
立、三、十、年、の、人、ら、人、ら、を、削、く、大隈令、去、の、武、部、指、深  
理、と、ま、の、報、告、日、次、を、首、相、言、相、見、お、由、お、文

相早大塚、去の祝、花、あ、る、而、井、子、高、木、林、山、中  
中、時、の、進、境、濟、院、あ、る、五、時、令、を、既、の、来、令、百  
名、協、令、三、十、年、史、を、領、つ、花、来、向、志、守、し、

十一日

噴、子、歌、令、多、と、と、純、子、香、取、鹿、島、潮、来、の  
お、郷、と、訪、ん、と、し、期、未、祝、世、と、油、の、午、後、所  
五、回、野、利、り、行、と、庭、令、女、一、行、十、人、志、木、十  
歌、博、田、皇、後、去、回、平、州、村、上、日、下、(英、一、ら)と  
余、の、外、ら、ま、の、口、法、を、命、事、訪、ま、る、海、井、所

迄(改秋)より、一時廿分電車、二時半休入とて  
 印幡沼の南、酒々井、八幡式車等と  
 往、今あきりの揮舞中、の農あも此中、  
 めつ、初尾、横芝、ひか、杉岸もここき、四時九  
 分、鉦子驛に着、鉦子へ、土田、大坂のあり  
 二三分、往來、し、とある、熱心の家、  
 の市とも、初め、の所、驛も自動  
 車を、働、大吠、叫、中、魚、市、場、を  
 過ぎ、下車、して、一、見、す、山、多、り、群、魚、日、大、小  
 舟、刺、と、し、元、隆、の、光、景、北、快、と、云、ふ、漁、船、

皆、此、多、り、新、築、す、也、尚、ほ、鴨、籠、飲、こ、ま、す  
 金、中、一、根、本、武、揚、の、引、率、下、り、幕、府、の、申、渡、法  
 没、し、七、十、段、の、乗、込、員、最、後、と、違、け、り、(遊、船、の  
 研、(黒、生)と、込、船、(遊、船)の、種、も、久、長、か、渡、の  
 沙、上、を、駛、す、久、毛、(近、年)元、と、製、一、八、萬、圓  
 の、輸、出、を、さ、す、所、在、其、の、後、ゆ、と、し、の、漸、や、く、流  
 弊、を、直、す、此、故、に、數、次、技、術、の、交、り、新、故  
 の、行、差、を、又、し、其、の、安、昌、を、想、存、す、燈、臺、を  
 訪、り、を、ゆ、其、の、安、昌、を、い、く、海、中、の、美、世、年  
 花、し、を、い、く、其、の、安、昌、を、い、く

十二日

日

今朝四時子一汗一齋、起床一天雷んと波穏る  
海上無数の漁船を觀、漣あると船の波動無  
の聲と混合、漁師の氏の情狀を遥想し、其  
をまゝの卯酒式杯、今話いさき、色紙書畫  
考正ところん十数紙を揮毫、九時二十分日  
程は徒心自勤車、まゝ紙帳を巻し川口を乗  
船す、利根を溯り、廣島香取潮来等の名所  
と訪りんとし、余の此の如く御のねのことす  
或十年一今の如志を滿す、感を漸まきいり地

大船動極、一船借り切り、一船他人と交へ、一行  
固ま、淡矣湧く、川口を、佐原と、水路九里、船中  
酒食の設備あり、佐原を、午後とす、此  
也、流石、日坂東大舟と稱す、此舟亦一の大川  
自然橋、利根の同志、川口を、四丁と、其  
とも、いさき、大なる、まゝ、其、女、の、幅  
の、大、大、なる、所、を、いさ、か、漸、と、法、上、を、あ、る、の、想  
を、あ、ま、る、岸、を、いさ、か、の、轉、答、を、樹、木、の、河  
に、人家、點々、浮、見、風、光、極、め、を、いさ、か、此、の、あ、域、飛  
行、域、の、流、習、地、を、いさ、か、二、概、活、動、を、を、見

う、若くは川を揚子江に擬し、舟のすべ、枝球  
の重み標もあましく、核の一品一試操縦のをも受あ、  
十二時止も、微而利の核あり、舟のすべ、舟のすべ、  
ま也、行厨といひ、き且つ、舟のすべ、舟のすべ、  
るく、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
この舟の上陸も、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
の道自動車の便り、とあり、舟のすべ、舟のすべ、  
この舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
ハ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
岸に達す、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、

陸自動車も、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
入、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
法も、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
祀り、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
初、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
樹道のあり、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
内、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
永、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
係、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、  
植、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、舟のすべ、



金田龍伯に会う事今中ちひと傳りて千五丁迄の  
香取神宮を詣りて祈す事この境内にてあり  
千坪、唐の神宮に比せん、規模小く、此宮に  
津の徳政の玉もも以て津の宮の祿あり  
而徳三年の洪水あり、千年以上の古蹟あり  
り、出征者の参拜に、七感入るも教百名の思  
ぬの齋集を兄の、休原より伊勢忠教の碑あり  
んも利り見よ、一日金田龍伯の想あると云  
此の寺の時三十分、古物あり、金田龍伯の想あり、大時四  
十一分、おと輝、二書あり

十五日

而、朝来前二日の日法を録し、龍平一藤の得る麻  
苧史を讀み、市山龍三とて物を贈り、十一指先  
酒の右の三福の酒をらとてゆり、大勢坊より来也  
浅田淑橋より来也、金子元匡とて金の龍首  
を捕り、中寺、四神、漢本を山寺にてあり、夜  
三入り、河内、龍の来り、大の場あり、新修名は傳  
り来

十四日

町園下あり、朝来龍伯と筆あり、来又下あり、近澤





以心、麻の破藩國と稱ひ、口名を、酒飯し、肉を  
段一時、午前睡時、講談と漢文時とあり、即此  
一世も、亡父加洋の徳を、版刻して、字の、一、双葉  
尾、雜記、迄、未、也。

十七日

雨、市、山、麓、三、月、日、柳、甚、小、竹、を、世、あり、杉、山  
心、為、く、と、ぬ、雨、の、押、立、を、未、め、未、る、終、日、降、雨  
漢、書、の、字、の、と、受、り、今、日、迄、未、也。

十八日

雨、雲、氣、の、温、低、十、時、以、地、雪、も、く、融、け、今、々  
在、引、結、合、廿、四、日、申、す、朝、来、の、次、編、年  
史、巨、漢、の、國、丁、未、五、十、一、時、出、游、新、右、の、任、務  
丹、公、堂、酒、飯、し、物、廿、一、日、憲、政、史、法、料、の、雙  
問、を、考、へ、く、あ、の、の、ノ、ノ、ノ、を、心、る、肉、子、の、主、張  
政、府、の、事、為、る、も、未、く、大、日、本、印、の、配、り  
年、八、分、六、百、七、十、四、十、九、分、銀、収、重、名、表、分、五、十  
日、の、断

十九日

日

昨余の投稿を収めたる雑誌、既七月號、亦、東洋趣味に稱利、憲政史志料、雙洲、を乞ふ、由の調査を爲す、十一時出遊、九時に歸り、主治醫、來り、圓了、奉る。

二十日

敬而、真時家より、花足利、表の法、編年史、疑問、時を移す、林、安次、の、あ、の、お、り、と、な、り、を、用、を、果、し、終、り、回、原、色、の、酒、飯、し、七、時、に、歸、り、憲、政、史、志、料、の、一、つ、き、を、の、調、査、を、行、ふ。

二十一日

昨、金、休、竹、徳、清、子、武、治、印、外、一、人、速、記、者、を、伴、を、來、り、時、次、三、四、年、頃、の、政、界、の、事、柄、を、話、し、九、時、より、十一、時、に、至、り、次、回、林、八、日、を、約、す、概、論、を、述、ぶ、お、し、イ、ン、ボ、ー、グ、ラ、フ、を、し、合、を、更、迭、の、集、合、を、其、中、大、中、の、間、を、改、上、の、局、を、多、う、家、人、に、注、射、を、施、す、小、中、女、子、時、便、を、あ、れ、來、り、根、本、義、遠、代、八、十、二、回、排、金、を、用、區、區、の、内、子、に、交、付、西、条、丹、吳、上、り、概、論、列、來、本、山、皇、室、を、隱、退、に、念、り、し、て、現、代、畫、家、執、事、の、華、中、一、新、社、七、名、を、再、見、す。

二十二日

晴、雜沓を著し一時を移り、教策一二の盒裁を  
賡ふと留り、山田信元來話、任反招り、預金、裁高  
三千六百九十圓六十八匁、利子五圓四匁、と有り  
と報じ、来り、早大出故部、任分決議を並列  
せ。

二十三日

晴、本堂に定、丹兵衛、中野、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、  
野、安、子、の、冬、の、雜、沓、を、著、す、出、版、部、配、由、金、百、十  
七圓、銀、収、十、一、時、出、版、部、木、尾、の、裁、を、購、入、せ、兵、衛

東京

酒、飲、り、七、時、了、一、時、間、干、睡、覺、の、事、も、雜、沓  
と、讀、み、入、り、海、島、(未、也)

二十四日

晴、氣、温、高、き、小、木、堂、三、本、法、長、洋、靴、男、註、し、未  
訪、午、後、天、吹、有、三、身、中、包、法、丹、兵、衛、宗、吉、の、計、訓  
と、牛、込、防、護、固、下、来、也、三、時、出、版、部、降、る、五、時  
概、亦、會、一、路、出、合、長、部、任、の、撰、稿、を、与、る、余  
名、冬、會、長、と、推、せ、ん、傍、田、長、一、分、長、と、る、今、今、  
月、今、月、七、日、為、名、大、各、拓、相、部、任、外、相、部、任

二十五日

雨連日の雨も池の漸や湯の、主婦の支社新設  
成記念として社名石川武美を以て念ふと始  
り来る、金二万圓の子に交付し出羽野村八良の  
室の時代小説論を讀みしゆ、年子執筆、海  
運も来々、福澤一大中、死去

二十六日

日

晴、遂にあつた、はるかに、旅の心を養ふ、道中  
美事訪ふのも、別段時を待たず、市極、つた、

神宮

十一時出遊、新右衛門、舟公名、酒飯、  
主婦、石川武美、謝志、考、支、  
海、野、日、  
典、校、濱、回、熱、英、  
小野、安、子、  
来、出、

二十七日

晴、舟、具、宗、主、死、美、  
大、坂、河、宮、高、尾、  
回、愁、英、  
小、美、押、真、校、部、  
雅、和、を、書、く、

人の乃之相是数紙、杉心花と、市心龍三、郵  
送す、十一時、静志の姉妹と付を、新右の三福、  
領す、物書、後干睡、海心、送来、五時、  
山田川、瀬と今飲す、高井忠夫、早大、附属、  
校、長、教、任、の、授、任、状、列、夜、来、雨、  
復、志、合、本、  
二冊、列、来、

片言

今朝、瑞向、池、水、漲、九時、急、以、史、海、  
非、後、清、運、武、次、林、茂、速、記、  
前、田、下、後、地、方、の、政、況、を、  
流、し、十一時、

り止志、北、強、江、  
文、下、繼、  
心、説、  
と、  
西、

廿九日

雨、  
如、  
任、



南無阿彌陀佛の名號を以てし、傳信海軍を  
●茂款ありて起却而志の印を捺し、此城を  
清川の傍にあり、予ハ地素の地也、文人とて喜ん  
て此物を受く、杉山心花、濱田繁、英とて、此の  
午後風強し、五時大谷、此の地を去りて赴く、尾  
作井とて、此の地を去り、丹吳より、此の地を去り、

尾作井

七月

一日

時、九時、此の地を去り、此の地を去り、  
と持て、此の地を去り、此の地を去り、  
積夫を道と待て、大谷、此の地を去り、  
早大の、予ハ此の地を去り、相馬、此の地を去り、  
此の地を去り、徳川、三家の、此の地を去り、  
九千、此の地を去り、此の地を去り、  
史記、此の地を去り、大田、此の地を去り、  
新、此の地を去り、此の地を去り、





既漢四時以... 又而降... 市島... 既... 夜... 脱... 大将... 自供... 外... 出... づ... 通... 有... 有... づ... づ...

三日

日

雨... 廣井... 紅... 秋... 追... 信... 文... を... 筆... して... 成... 信... 兵... 将... 士... 歷... 間... の... 為... り... せ... る... 色... 紙... 四... 枚... 押... 書... せ... 家... 附... せ... 後... 日... 雨... 窓... 勢... 勢... 三... 好... の... 様... を... 執... 持... し... 且... つ... 抄... 紙... して... 時... を... 考... へ... 丹... 兵... 衛... 大... 崎... へ... 投... 簡... 徹... 宥... せ... ら... せ... づ... づ...

四日

雨... 廣井... の... 追... 信... 文... を... 校... して... 北... 山... 崎... 報... の... 山... 崎... 東... 天... 三... 好... 美... 予... の... 字... の... 形... を... 取... り... せ... ぬ... 合... 合... の... 三... 様... 別... 新... 紙... を... 筆... せ... 雨... 降... る... 時... 々... 草... 下... あ... る... 公... 起... り... 時... 々... 懸... ね... あり... 酒... 句... 天... 龍... 三... 州... 暴... 溢... を... 報... せ... 午後... 散... 葉... 物... を... 掃... ぎ... ぬ...

五日

風... 城... 後... 校... 筆... せ... る... 早... 大... 勢... 中... 元... 海... 嶽... 三... 州... 末... 兵... 衛... 大... 崎... 人... 相... 好... 後... 二... 増...

田義一郎不之山陽の横峯を鎮定を治ひし来り、新を節か  
ハ皇軍湖口占領を報す、牧兼改本大島より海士  
大化改新の研究を購ふ、下谷の日月二飯を物さ、  
旧和馬野に同言、今もと前島赤松大島に都立大坂  
大谷明也とも曰ふ

六日

晴、坂神の如く禰言法に絶え、小西佐八の訃聞、難状  
を筆す、赤坂本の大化改新を讀み、五時紅毛館の  
睦合に臨み、素多島、即日甲申の増田義一と

榎原製

今も、夜未徹也

七日

雨吉妻、幼少満一通年也、殉田の将兵三萬  
五千、敵の死傷百三十萬、敵械一千七十、鐵城占領  
地吾の邦土の三倍、本口際、陸海軍人に優渥の勅  
許を賜ふ、十時出游、浅草子住、おを購ひ、高崎を  
今も、酒飯、切宅後午睡、一時、同大崎に  
多来、之、織物、の、清品、數千、點、を、所、合、に、其、  
錢、後、婦、人、合、に、押、是、色、紙、四、枚、を、寄、贈、共、義

筆を得る交に完てし

八日

家内祝七十七回

徹夜未難保と書す。甲辰年十月又出、愛玉婦人  
命を謝す。川田貞子、父宗吉、年儀のつと謝禮  
に未の、金二十圓、是月由り交付。山崎、東天も未也。  
風流遊、香澤花と贈り未也。夏目漱石と讀む。

九日

晴、越後、分る。去月廿四日、白宮の宮をも焼

標原製

り未也。平澤、金三、中、余の書牘二紙と書す。  
一、越後と讀み、即ち書し、其の難保と書す。  
才、夏目漱石と讀む。下林、久、作、天、去、葬、式、の  
後十一日、各所を中元、贈品列す。新島、純、の、師、友、  
但、文、部、も、未也。

十日

日

晴、今朝定を付、世田、谷、下、林、の、友、と、初、い、不、幸、を、  
昂、ひ、香、資、十、圓、葉、子、一、函、を、贈、り、附、近、の、松、陰、神、社、を、  
拜、し、日、本、橋、に、出、て、高、崎、庵、を、看、む。飯、も、物、も、夏、  
目、漱、石、も、済、む、以上、殆、ど、終、り、也。

十一日

陰山田清水集。初物を貯る。夏目漱石を讀む。  
旅亭と著す。十一時出遊。口本橋の柳と物を貯る。  
船産に飯す。由未後山。一時を移す。梅田町を去る。  
風心山愛こおを貯る。

十二日

町中。後山。十一時散策。東丸の林をくぐり、飯す。鳩  
山喜處。由山を初め、区に杖けを起し、力足  
らず。久し。おも能く。大段。早橋。田舎。新創  
主を報い。未。冬所。中元。初物。未。例年

榎原製

の如し。宅地租三十四六十五。入所加税六十八。百九  
十四。の徴票未。

十三日

町。朝未。初物を著す。時を移す。所得税宅地租著す。  
徴票列す。林若柳(若夫)の計列す。祭儀十五日。日  
宅。後山。夕刻。列す。冬代。四月。

十四日

町。朝未。雜給。著す。田村。廿二。夏。初。野。野。  
後。受。記。酒。と。家。庭。の。田。湯。と。靴。と。後。治。と。清。山。  
即ち一時。出。船。自。と。著。地。と。著。地。と。著。地。と。著。地。

地あるが、大谷噴出を止めぬ。今朝は雨あり、  
今出法弁士の件もついでに、丹波出京の電報利  
らう。ラリンのくみ、高橋共々中止と決す。

十五日

晴、今朝丹波原も出京も、早大と大島山一と  
おき、おのほ、校友会もついでに、改組打合を  
す。坊山春子の葬式も行く。流り、午後驟雨、  
一時林美相の葬儀も歸り、お丹波原と暮らす  
又驟雨あり。

榎原製

十六日

晴、真夜中から、お丹波原の遺物衣類を貯る。余の  
遺業中、お丹波原の一項を、お丹波原全子に、  
中等國語讀本、お丹波原の一二の書、お丹波原  
お丹波原の朱筆、お丹波原の遺物を、お丹波原  
お丹波原の遺物を、お丹波原の遺物を、お丹波原  
お丹波原の遺物を、お丹波原の遺物を、お丹波原  
お丹波原の遺物を、お丹波原の遺物を、お丹波原  
お丹波原の遺物を、お丹波原の遺物を、お丹波原

十七日

日



二十日

晴野口多日：返向を致し、大波の吉田祥三  
と、穂波館をめぐり別荘の三とを尋ねて来た。旅費を  
暮らす。且の日出遊計画を立て、後を介する。  
新刊版の献書と来世大化改行の研究と後、漢  
の合と米状。

二十一日

晴朝来雑感と暮す、吉田祥三中と空のえんを  
穂波館書庫を後、坂口献書と向より山物屋  
空社と川柳正体所考(大尾助村著)と

標厚製

夕方、白米を煮、浴衣地ニ入る。多日  
舞送ちしむ。山午高崎を公堂と酒飲す。合  
津ハ一息に盡す。朝来。

二十二日

晴朝来雑感と暮す、吉田祥三中と海を渡る。  
預金残額を四引出し、校及陸軍歩兵六中村吉  
野(川羽の人)出征より来た。小笠原を来た。  
理科夜に時を暮らす、早大を御後行の旅費  
を領ぬ。十二時、新宿の伊勢丹合を領し、永





を訪問其のしほ菜をえり、又土田を大ら、安田を  
自動車と曳り、大下エトあり新井郷川治方碑  
をえ、新島田、物、二、三時北辰飯の校友今三、路  
と今瀬の後その今、多、よ、土、八、十、路、名、家  
畢り新島の校友と新島田十部、新島、向、山  
の石、着、り、時、既、二、十、時、と、さ、く、校、友、の、柱、を、の、錫  
奉、居、の、小、室、の、臨、六、十、二、時、と、故、所、此、揚、の、以、菜  
七、八、六、一、時、藤、田、好、信、の、校、友、宿、先、昨、夜、先、着、北  
後、に、在、り、野、口、の、鄭、板、橋、四、子、書、真、蹟、破、書、本  
六、冊、湯、海、土、土、幾、種、此、を、貯、り、今、伴、八、一、余

棟原製

旗世帯の、~~井~~島田所為、秋、香、の、二、路  
と作、り、先、栗、林、角、谷、主、訪、入、尚、新、島、田、を、今  
元、の、人、名、左、の、如、し

- 原清七(町長) 多田定海(新島好信支店長)
- 中野久保(川尻中守) 伊原康幸(住田) 飯飯
- 山根治(中島大佐) 飯保信大(町田市令副長)
- 中島安司(町部後男) 佐々木村彦枝(児玉忠心)
- 吉(新島伊山組合長) 白鷲誠一(小柳解) 石川喜
- 紀(新島) 丹兵衛(町長) 町長(町長)

二十五日

明、早起事と云ふは、高名法衣年物、雲世南本北  
海、法衣の題、運と法衣、即ち書いと題、味、味、  
行と題、高名、高名、運と、野、菜、類と、安と、安と、  
ま、あ、ま、本、の、午、後、一、時、十、五、分、の、汽、車、ま、よ、京  
と、決、り、右、の、助、を、を、湯、ま、十、時、校、友、の、室、を  
ま、赴、く、今、倫、録、を、今、午、ま、ま、二十、数、一  
時、録、ま、汽、車、に、投、す、今、津、新、行、に、止、ま、服  
部、高、の、赴、く、為、り、新、行、に、ま、ま、午、時、六、時  
止、ま、ま、公、分、を、飲、ま、五、時、法、衣、運、道、に、か、ま、区、以、此  
水、終、久、薇、園、ま、ま、ま、ま、ま、ま、六、時、一、時、今

標原製

食、七、時、三、分、上、仰、ま、ま、ま、ま、今、朝、ま、ま、雨、降、り、上  
野、着、り、時、雨、降、り、ま、ま、自動、車、を、得、て、ま、ま、田、を  
漸、や、飯、を、家、に、帰、り、前、行、り、飯、を、潤、意、に、  
助、ま、城、に、伊、勢、修、成、寺、の、末、尚、に、振、ま、一、的  
寝、に、就、く、東京、朝、の、ま、創、刊、五、十、年、の、紀念、品、を  
贈、り、ま、ま

二十六日

雨、朝、未、始、雨、に、行、り、の、ま、ま、ま、ま、新、島、由  
時、花、お、梅、上、浦、重、の、命、名、ま、ま、冊、三、一、冊  
ま、ま、投、向、ま、ま、ま、の、品、に、交、付、ま、ま、月、交、付、の

分々二万圓中先の空用。先として、（？）毎年例也。亦各員換金十三年を分徴票列の十一時敷。東部右の物を換ひ三福の銀七匁の午腫一時同。受り未の時す。既後を渡す。皇軍九江を隔るの快報あり。野口多内と云ふに到り。

二十七日

野口多内。河東。山田。河化。年旅。複製本。二冊配本。雑本と懸記して時を待たず。午後又而も。既後。四旅。既と来也。

操原製

二十八日

昨金の既後をぬのき。讀本。橋板。上四番。年遊也。亦三日。既後。亦の既後。及故類。E云。亦不用の物を物置。待たず。去故。既。伊。既。修。既。与。殺。三。指。二。測。し。牙。簡。亦。層。出。を。費。可。十一時。敷。兼。既。右。の。物。を。換。ひ。伊。既。亦。名。重。の。酒。飲。し。由。宅。後。干。腫。重。板。の。男。子。出。征。と。懸。記。可。報。す。血。族。も。出。征。す。ハ。之。人。と。始。め。と。す。板。垣。五。子。と。云。亦。現。代。小。説。論。と。寄。せ。可。也。

二十九日

頃、新河新任知事、中村殿次郎より、と新任挨拶、  
到り、金銀八一と、米出、天取穀と、整理し、時と  
殺し、金四圓位、友を、然、今引出、月未、家用、元  
つ、丹兵衛平、と、専出、十一、取、策、上、堂、の、凡、月、取  
す、物、召、後、午、睡、是、め、て、後、出、金、三、万、圓、由、方、と、交  
付

三十日

頃、新河と、著、す、中、村、殿、次、郎、耳、の、毫、山、書、と、も、書、  
標原製

吳江の待幅を短く、此後、新河平河の渡り、  
河上ハ、舟を、此、の、七、堂、と、い、内、に、乗、込、す、と、書、海  
道、文、道、池、等、(一) 舟、由、と、道、中、の、一、と、講、び、人、を、傳、  
て、庭、園、の、新、号、を、除、く、

三十一日

日

頃、後、驟、雨、二、回、書、雷、吟、あり、新、河、と、著、す、金、  
多、由、二、向、す、十一、時、後、策、新、河、と、平、河、す、新、河、某  
多、由、の、(一) 書、物、の、送、込、と、曉、す、と、山、頭、の、書、



以下全て

白紙

